



バリアフリー
ペーパー

秋号

平成 27 年 10 月 26 日発行

この機関紙は、西条市障害者相談支援センターがパソコン就労をめざす障がい当事者グループ「オンリーワン」に編集を委託し、協同で作成したものです。

秋らしい爽やかな季節となりました。2年後に愛媛で開催される国民体育大会・全国障害者スポーツ大会に向けたイベント等が各地で開催される中、運動とは無縁の私も期待が大きく膨らむ今日この頃です。日頃スポーツに取り組んでいる地元の多くの方々が大会に出場し、大いに盛り上がる事を期待しています。また、マスコットキャラクターとして活躍中のみきゃんは、現在ゆるキャラグランプリで暫定1位をキープしています。1位を獲得し国体に向け弾みにしていきたいですね。私も1日1ポチで応援していきたいと思います。
(支援センター 久保)

障害者総合支援法を学ぶ講演会のお知らせ

サービス等管理責任者・相談支援専門員そして自立支援協議会の役割とは？

～本人ニーズ中心・権利擁護のために～

平成25年4月に障害者総合支援法が施行され2年余りが経過しました。障害がある人の生活支援充実のために作られる「サービス等利用計画」「個別支援計画」の義務化、障害者虐待防止法の施行、平成28年4月には障害者差別解消法が施行されます。障害福祉の諸制度が目まぐるしく変化しているなか、地域の障害者福祉に関する中核的な役割を果たす自立支援協議会の機能強化が課題となっています。本年「障害のある人の支援計画」を執筆され、ご自身も障害があり、様々な国の障害者施策の企画・立案に携わる愛知淑徳大学教授谷口明広氏をお招きし、ユーモアを交えながら制度のポイントを学ぶ講演会を開催します。

日 時：平成27年11月26日（木）

14:00～17:30

会 場：西条市東予総合福祉センター2階 会議室

対 象：障害福祉サービス従事者及び当事者等

定 員：100名（先着順）

講 師：愛知淑徳大学教授 谷口 明広氏

参加費：無料

主 催：西条市

締 切：11月13日（金）

◇ 谷口明広氏プロフィール ◇

1956年京都市生まれ。生後間もなく重症黄疸のために脳性マヒとなり、四肢及び体幹機能障害で車いすを使用している。現在、愛知淑徳大学教授。著作「自立生活は楽しく具体的に」(かもがわ出版)、「障害をもつ人たちの自立生活とケアマネジメント」(ミネルヴァ書房)その他多数。

【お問合せ・申込み】

西条市障害者相談支援センター

TEL(0898)64-2600

FAX(0898)64-3920



放課後等デイサービス

『レインボーキッズメソッド』を訪問して



西条市丹原町願連寺に7月1日にオープンした、放課後等デイサービスレンボーキッズメソッドを取材させてもらいました。場所は、丹原高校前でわかりやすくとても便利です。

放課後等デイサービスとは、学校通学中の支援の必要な子ども達に対して、放課後や長期休業中（春・夏・冬休み）、学習や生活能力向上のための訓練を行い自立を支援したり、安心して過ごせる居場所を提供する事業です。



★ 利用について ★

対象者は、小学1年生～高校3年生まで。定員は10名程度。現在は小学生が多く、地元の学校の支援学級や今治特別支援学校の子ども達が中心です。送迎は個々の終業時間に合わせて学校にお迎えに行き、希望があれば自宅まで送つてもらうことができます。片道30分位まで送迎可能です。

利用時間は、平日は学校が終わってから17時頃まで、土曜日・長期休業中は10時～16時半頃までです。日曜日、祝日は休業です。学校が午前中で終わる時や振り替え休日にも対応するため、学校や保護者との連携は大事にされているそうです。調理、運動、外出、あーさんとの日（障がい当事者で漫画家のあーさんによる絵描き教室）など、充実したプログラムが提供されています。



事業所入口の風景

★ スタッフの紹介 ★

児童発達支援責任者の三木さんは、もともと一般企業で働かれていましたが、子どもが好きで一念発起し、専門学校で学んだ後、高知県の児童福祉施設で8年間勤務されました。その後、地元である西条市に帰られ、保育所で働いている時に出会った自閉症の子どもとの関わりが、事業所開設へ踏み出す大きなきっかけになったそうです。

今回、社長さん（七色ゆめ工房株式会社）と一緒にやらないかと声をかけてくれた時、市内の放課後等デイサービスは不足している状況でした。子ども達の力になることはできないだろうかと、県外に勉強に行ったり、地元で情報収集をしながら、手探りで準備を進めてこられました。知識、経験ともに豊富で、温厚な人柄を感じました。



児童発達支援責任者の三木さん

★ 室内の環境について ★

室内の行き届いた環境づくりにびっくりしました。ホワイトボードには全体のスケジュールが貼つてあり、それとは別に、個人のスケジュールが縦一列に貼られてありました。活動が終わったら一番下にある「おわり」の箱にカードを入れるように工夫が凝らしてあります。何をしたらよいか不安を感じる子ども達への配慮で、このスケジュールがあることで、見通しを持ち、自分で行動することができるよう支援しているそうです。自主性を育む支援だと思いました。

また、勉強室や一人になりたい時のカームダウン室、カーペットで活動する場所を色分けするなど、空間を分ける工夫がされていました。トイレの通路前には足型のイラストが貼ってあり、そこに立つことで順番を待つ練習ができるそうです。子ども達が使いやすい工夫が色々な所に見受けられ感心しました。

今回、取材をさせていただいて、レインボーキッズメソッドは、子ども達が興味を示し進んで活動や勉強を楽しめる温かい居場所であることが伝わってきました。

子ども達だけでなく、保護者の方にとっても安心して利用できる居場所ができ、どんなに心強いことでしょう。まさにパンフレットに書かれている「子どもたちの輝かしい未来のための心と心をつなぐ虹の架け橋」です。私はこの言葉に心を揺り動かされました。地域にこのような素晴らしい事業所ができるることは、障がいに対する理解を持つ方が少しずつ増えていくことにもつながっていくのではないかと感じました。（オンラインワン 梅野）



パソコンで描いたイラスト 美奈子さん作



秋の風 しんすけ

のぶちゃんのべすとしょっと

先日、久万高原町で三島神社夏祭り・五神太鼓競演がありました。樹齢 600 年の立派な大木をバックに打ち鳴らす壮大な太鼓の音が響き渡りました。

太鼓を打ち鳴らすことでの久万山という山の神々に感謝を捧げるとされているそうです。とても楽しく見れました。また行きたいです。

撮影：オンリーワン のぶちゃん

『五神太鼓競演』



投稿コーナー「たしつぽ」



もう歳ど いいわけ くせつ ひねもすね す
とい いわけ くせつ ひねもすね す
言い訳にする 農付いて 終日寝て 過ごしたり 美奈子詠

つぶやきの窓♪♪ by HIRO



ある記事で「本当の友人とは?」というのがありました。そこには、SNS に 100 人以上の友人がいるにもかかわらず、いざ自分が大変な時に誰からも助けてもらえなかしたことなどが書かれていました。私も考えてみれば、本当の友人と呼べる人は少ないなあと感じました。

私の友人のある方は、私が病気のときは、その病気について調べて理解しようとしてくれたり、何か問題があれば、一緒に最後まで考えてくれたりします。病気があると、なかなか健康な人に理解されにくい部分もあるので、知ろうとしてくれることをうれしく思います。私もその友人ならい、相手に歩み寄れるような気持ちを持って、本当の友人をたくさん作りたいです。

【オンリーワンメンバーからお知らせ】編集長の高須賀さんが退任します。

2008 年 6 月の機関紙創刊号から 2015 年 7 月まで 39 回の機関紙編集に関わってきましたが、この度、設計ソフト (CAD) の勉強の為、機関紙編集長を代わることになりました。今までありがとうございました。振り返ってみると、創刊号は、機関紙名や今でも使用しているロゴをみんなで決める所から始まり、掲載する情報を書き集め作成しました。いつしか情報数も創刊号と比べると多くなっていき、編集にも力が入ってきました。39 回の間に用紙の色が変わったり、情報を多く載せる為、余白も変更したりと様々なこともあります。編集に関わることは無くなると思いますが、これからもオンリーワンの一員としてよろしくお願ひします。

(オンリーワン 高須賀)

オンリーワンメンバーの中で最年少でありながらパソコンのスキルも高く、責任感も強い高須賀さん。

「困った時は高須賀さんに頼めば何とかしてくれる！」とみんなからの信頼度抜群の編集長でした。

今までありがとうございます。そしてこれからもよろしくお願ひします。

新たな目標に向かって、今後の活躍も期待しています。

(支援センター 津島)



発行：西条市障害者相談支援センター（西条市社会福祉協議会）

編集：オンリーワン編集委員

〒799-1371 西条市周布 606 番地 1 西条市東予総合福祉センター内

T E L : 0898-64-2600 代 F A X : 0898-64-3920 E-mail : soudan-saijo@galaxy.ocn.ne.jp

